

SDGs 認知度アンケート調査結果報告書



2019年4月

法政大学学務部教学企画課

1 調査の概要

- (1) 調査の目的: SDGsの認知度把握を目的とする。
- (2) 対象学部生(通信教育課程を除く)・大学院生・専任教職員
- (3) 調査方法: Webによる調査((Google form)
- (4) 調査時期: 2019年1月11日~2月15日
- (5) 回答状況

学部生

学部名	人数
法学部	110
文学部	76
経済学部	54
社会学部	56
経営学部	70
国際文化学部	61
人間環境学部	107
現代福祉学部	22
情報科学部	14
キャリアデザイン学部	38
デザイン工学部	158
理工学部	60
生命科学部	44
GIS	26
スポーツ健康学部	12
不明	1
合計	909

大学院生

研究科等名	人数
人文科学研究科	3
国際文化研究科	0
経済学研究科	1
法学研究科	2
政治学研究科	6
社会学研究科	0
経営学研究科	4
キャリアデザイン学研究科	2
公共政策研究科	10
理工学研究科	29
情報科学研究科	2
デザイン工学研究科	15
人間社会研究科	2
政策創造研究科	16
スポーツ健康学研究科	1

国際日本学インスティテュート	2
連帯社会インスティテュート	1
法務研究科	1
イノベーション・マネジメント研究科	10
不明	3
合計	110

教員 157 職員 236 総計 1,412

(6) 回答者の性別(全体)

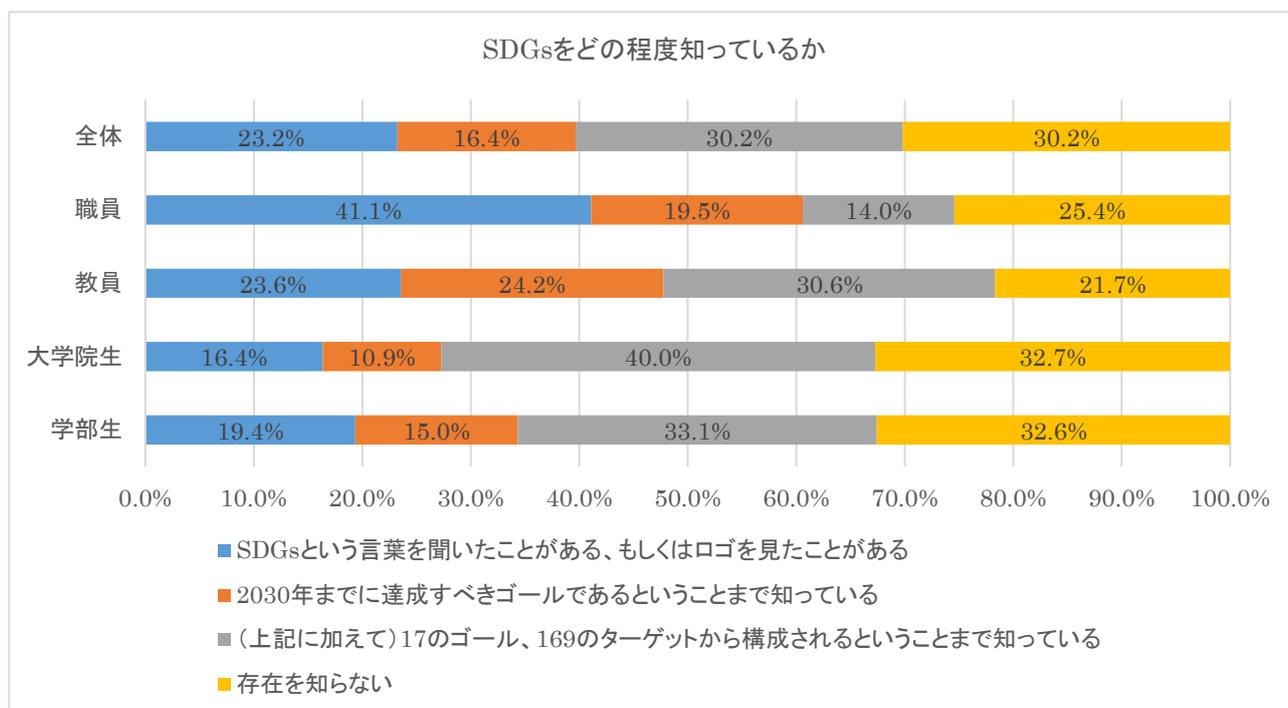
	人数	構成比
男性	789	55.9%
女性	561	39.7%
その他	4	0.3%
未回答	58	4.1%

2 調査結果

(1) SDGs の認知度

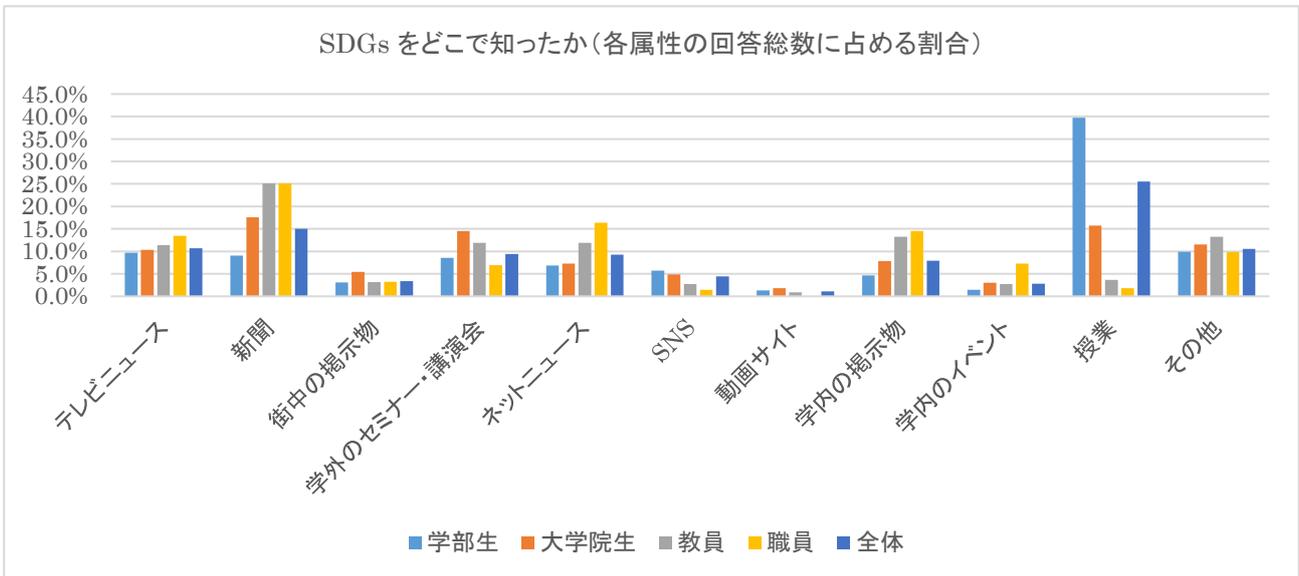
(1-1) SDGs をどの程度知っているか。

全体では、約7割(69.8%)が、なんらかの形でSDGsについて認識していた。属性別の認知度は、学部生 67.5%、大学院生 67.3%、教員 78.3%、職員 74.6%であった。学部生の 33.1%、大学院生の 40%、教員の 30.6%が、「17のゴール、169のターゲットから構成される」ということを認識していた。



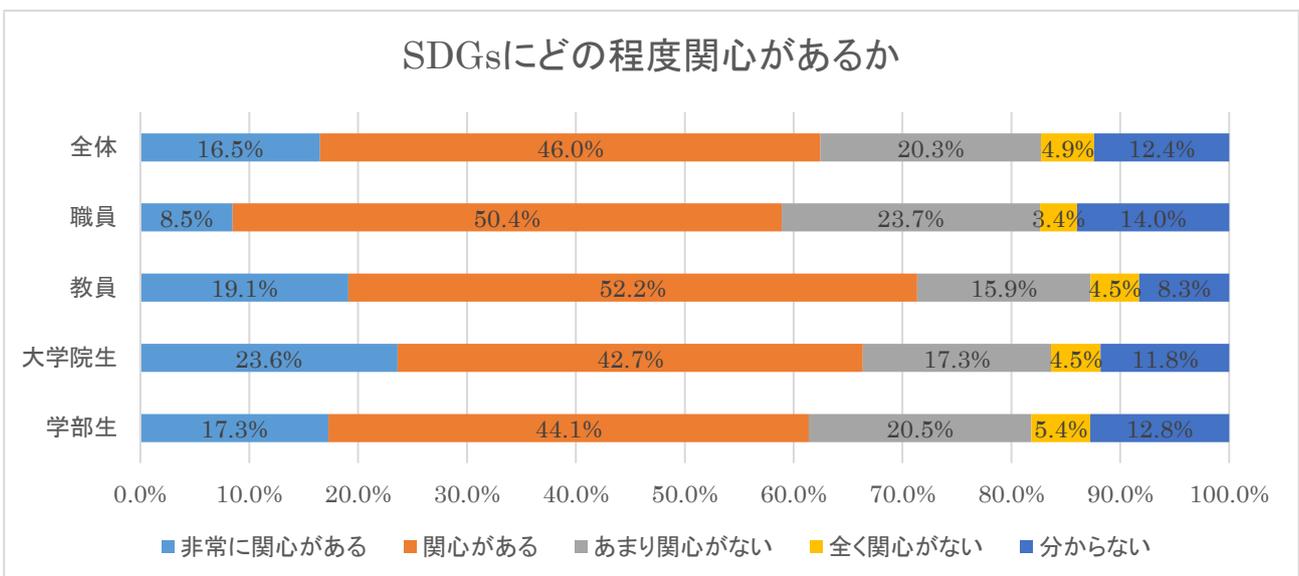
(1-2) SDGs をどこで知ったか(複数回答可)。

SDGsを知った情報ソースについては、学部生では「授業」を挙げた者の割合(39.8%)が多く、テレビニュース(9.7%)，新聞(9.0%)と続く。大学院生(17.6%)，教員(25.1%)，職員(25.1%)では「新聞」と回答した割合が最も多い。



(1-3) SDGs にどの程度関心があるか

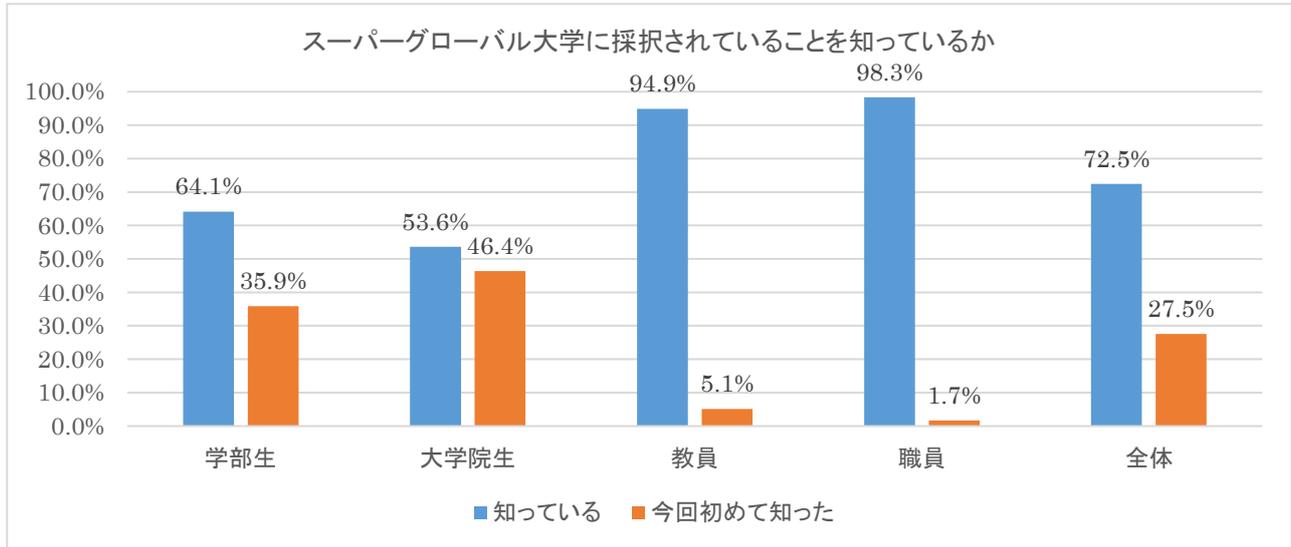
「非常に関心がある」または「関心がある」と回答した者の割合は、全体で 62.5%であった。教員(71.3%)の関心が最も高く、大学院生(66.4%)，学部生(61.4%)，職員(58.9%)であった。「全く関心がない」との回答は全体で 4.9%である。



(2) 本学の取組に関する認知度

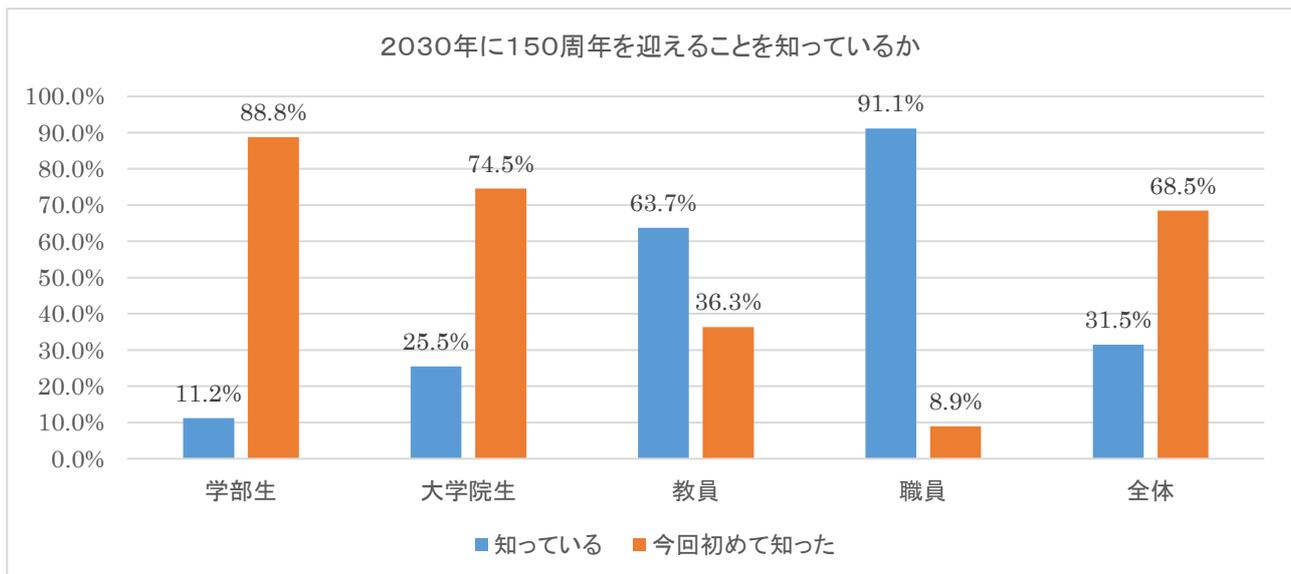
(2-1) 本学がスーパーグローバル大学に選定されていることを知っているか。

本学のスーパーグローバル大学としての認知度は、教員(94.9%)および職員(98.3%)が9割を超えているが、学部生は64.1%、大学院生は53.6%である。



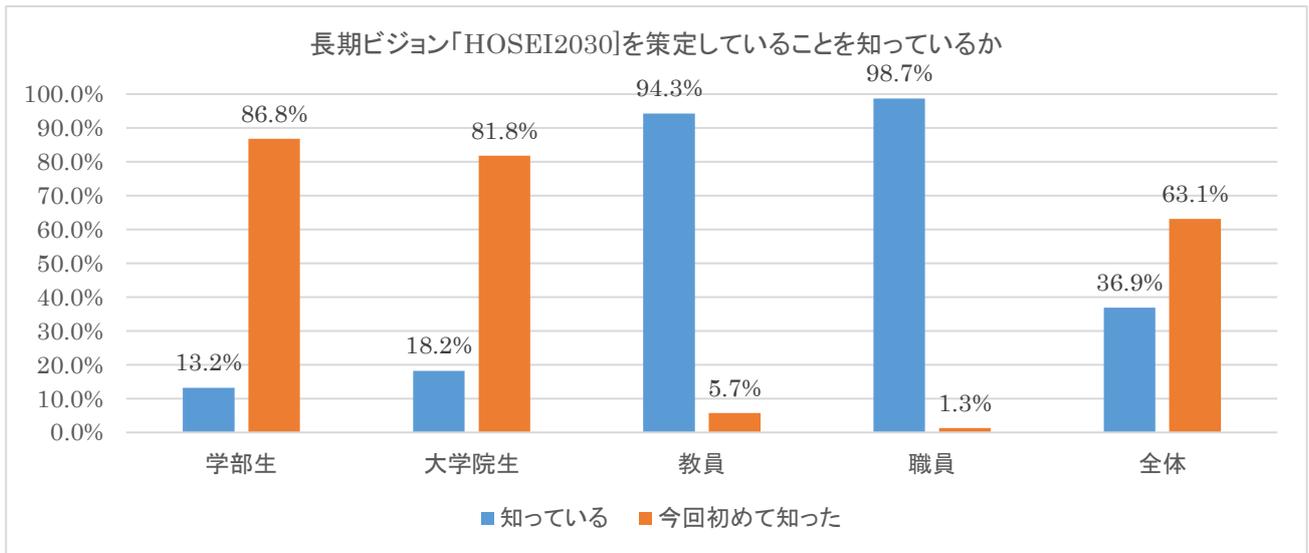
(2-2) 本学が2030年に150周年を迎えることを知っているか。

「本学が2030年に150周年を迎えること」については、教員の63.7%、職員の91.1%が認識していたが、学部生は11.2%、大学院生は25.5%である。



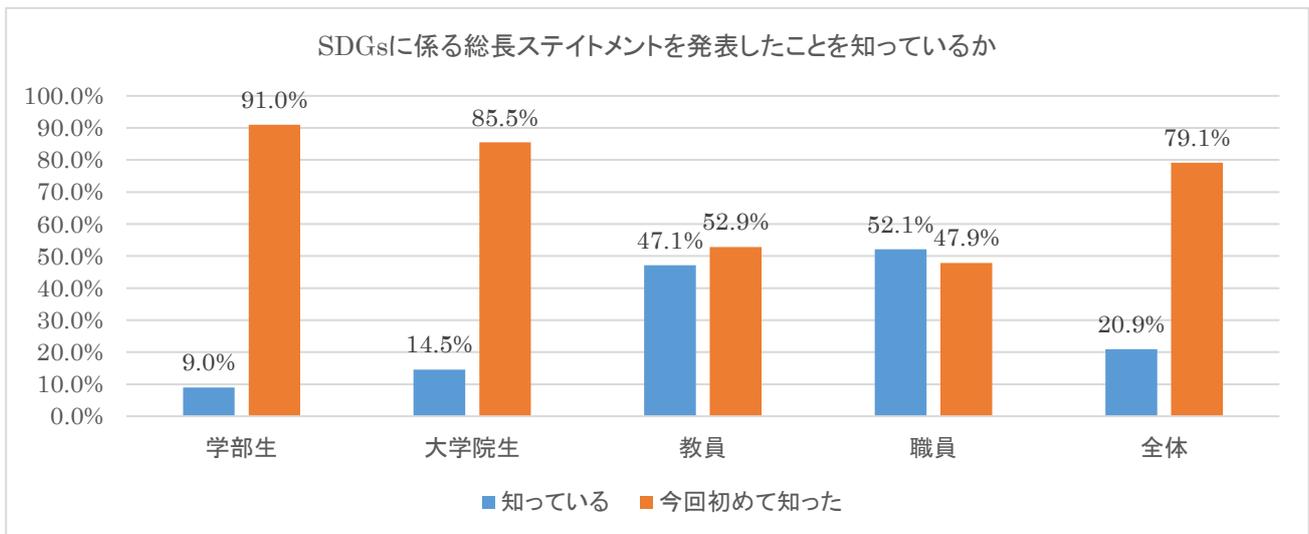
(2-3) 本学が長期ビジョン「HOSEI2030」を策定していることを知っているか。

「本学が長期ビジョン「HOSEI2030」を策定していること」については、教員と職員では9割以上が知っていたが、学部生と大学院生の認知度は2割以下であった。



(2-4) 本学がSDGsに係る総長ステイメントを発表したことを知っているか。

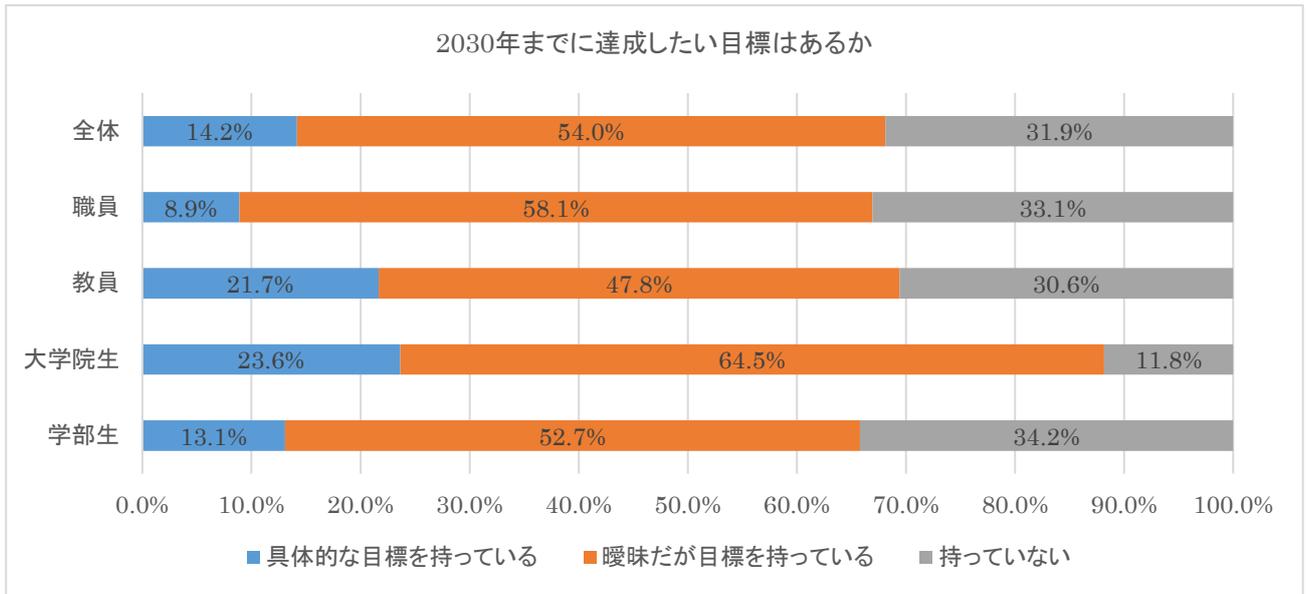
「本学がSDGsに係る総長ステイメントを発表したこと」の認知度は、全体で約2割(20.9%)であった。特に、学部生は9.0%、大学院生は14.5%であった。一方、教員、職員は約半数が認識していた。



(3) 回答者の将来について

(3-1) 2030年までに達成したい目標はあるか

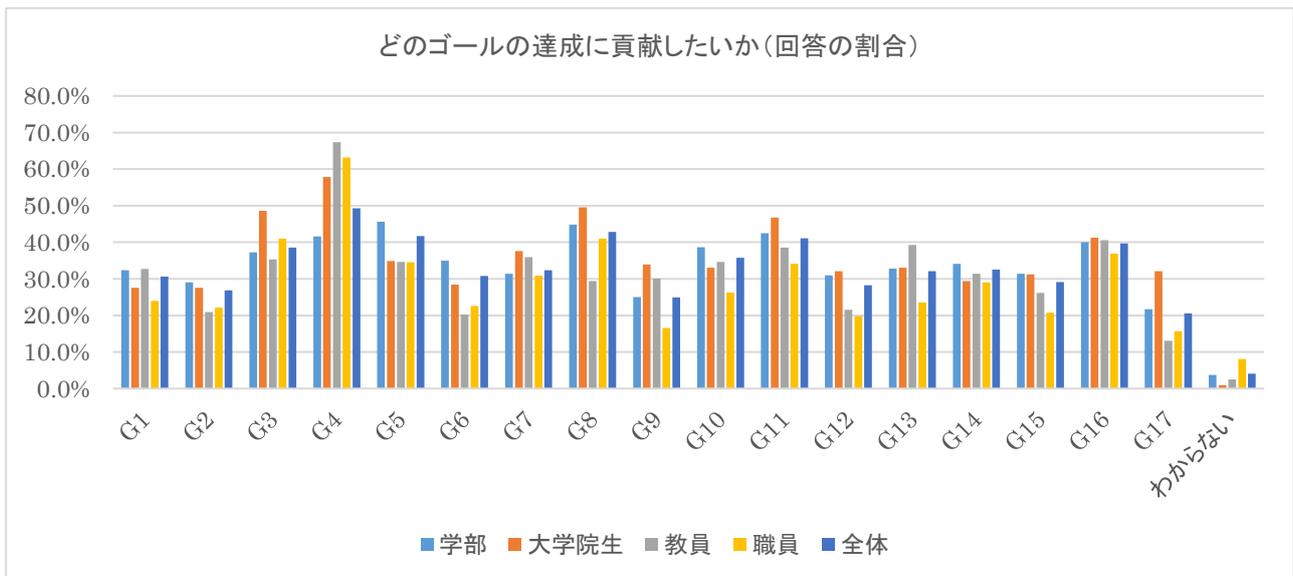
SDGsのゴール最終年である2030年までに達成したい目標があるか、との問いについては、全体の約7割が目標を持っている(「具体的な目標をもっている」(14.2%) + 「曖昧だが目標を持っている」(54.0%))と回答した。



(3-2)SDGs のどのゴールの達成に貢献したいか(複数回答可)。

全体では、ゴール4「質の高い教育をみんなに」を回答した割合が最も高く49.3%、以下、ゴール8「働きがいも経済成長も」(42.8%)、ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」(41.7%)、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」(41.1%)と続く。最も割合が低いのは、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」の20.6%である。属性別の上位3つは以下の通りである。

	1	2	3
学部生	5「ジェンダー平等を実現しよう」(45.6)	8「働きがいも経済成長も」(44.8)	11「住み続けられるまちづくりを」(42.5)
大学院生	4「質の高い教育をみんなに」(57.8)	8「働きがいも経済成長も」(49.5)	3「すべての人に健康と福祉を」(48.6)
教員	4「質の高い教育をみんなに」(67.3)	16「平和と公正をすべての人に」(40.5)	13「気候変動に具体的な対策を」(39.2)
職員	4「質の高い教育をみんなに」(63.1)	3「すべての人に健康と福祉を」(41.0)	ゴール8「働きがいも経済成長も」(41.0)



以上